

協議会で

新得町はダムのみち。ダム事業者が4つも集まる自治体は珍しい。町のダム施設で、町の名産の原木しいたけを栽培し、秋の「しんとく新そば祭り」※2で競争するようなイベントをやれば、新得町や原木しいたけの知名度が上がるのでは！！



T 部長

帰庁後

…と言うことなので、まずは当部の十勝ダムでやってみましょう！



T 部長



担当

確かに面白そうな企画ですね！でも、ダムで「きのこ」は育つのでしょうか…？生き物ですよね？そんなに甘くはな… い

さあ、きのこプロジェクトチームの立ち上げです！！

始動宣言



T 部長

きのこプロジェクト始動！

「ダムで「きのこ」栽培？」

帯広開発建設部地域連携課は、官民が連携し、地域づくりのための「共創の取組」の一つとして、きのこプロジェクトを令和6年11月に始動しました。
コトの発端は、同年10月に新得町で開催された「地域に開かれたダム※1」全国連絡協議会での、当部T部長の発言でした。



第1号
発行：2025年6月
帯広開発建設部
地域連携課

「きのこP通信」はきのこプロジェクトチームの活動を発信するものです。

↓きのこP通信はHPに掲載中



きのこプロジェクト（きのこP）とは？

もちろん長期的な目標等も考えていますが、難しい話は置いておいて、

◇町とダム事業者が協力し、新得町と原木しいたけの知名度を上げる取組です。

現在は、他のダム事業者からも賛同いただき、秋の「しんとく新そば祭り」に各ダム施設で栽培した原木しいたけを出展し、各ダム事業者対抗しいたけコンテストを開催予定です。各ダム事業者は栽培方法を工夫したり、アピールポイントを考えたり、絶賛取組中です。



きのこPチーム

- ・新得町
- ・帯広開発建設部
- ・十勝総合振興局
- ・北海道電力（株）新得水力センター
- ・電源開発（株）上士幌電力所
- ・きのこ愛好家・・・の方々など



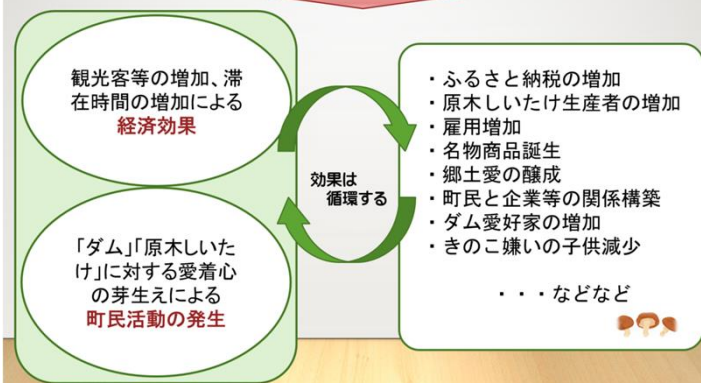
※1：国交省が指定した、地域の創意工夫を活かしダムの地域への開放を一層進め、ダムを核とした地域活性化を図っているダム。

※2：過去には、2万5千人が来場したこともある新得町最大の祭り

→真面目なことも考えてます

期待する効果

「ダム」「原木しいたけ」を通じた新得町の知名度向上等の取組



◇生育条件の壁

楽しそうな取組ですし、その目的からもやってみることに意義があるのかもしれませんが、担当者は「本当に育つの？あの環境で？」と考えてしまいます。「収穫物がなくて、コンテストなんて成立する？」のモヤモヤを抑えられませんか？とまず、しいたけの生育条件的なものを調べてみました。文献を色々調べました。さらに、地元の生産者の方にもヒアリングさせていただきました。結果、「難しそうです！部長！」

でも大丈夫。生産者の方には「条件は厳しいけど、やってみないとわからない。面白そうな企画だね」と言っていただし、たくさんアドバイスもいただきました。案ずるよりも…かもしれません。

クリア

◇調達の壁

担当者の心が決まったところで、次の壁。ほだ木※3を手に入れなくては始まりません。が、我々に先立つものはありません。

でも大丈夫。T部長が新得町のふるさと納税の返礼品でほだ木をゲットしてくれました。



クリア

◇栽培の壁

ダム施設の環境は恵まれたものではありません。そんな環境でも育つように、手作り工作などで環境を整える工夫（努力？）が必要です。さらに、ダムとは距離があり（車で片道70分）頻繁に通うことが難しいです。

でも大丈夫。ダム施設の方が定期的に観察報告してくれることになりました。

みなさんからの温かいご協力をいただき、色々な壁を乗り越え、晴れて「原木しいたけ栽培」がスタートしました。

クリア

※3：原木に、しいたけの種菌を植えつけたもの

続く



編集後記

きのこP通信を発行することになりました。あのT部長の「あるといいよね」のささやきがきっかけで、第一号の発行となったのですが、活動について「知ってください」「応援してください」「仲間になってくださいませんか」のメッセージを込めて発信していきたいと思っています。

きのこプロジェクトを担当する地域連携課では、「楽しくやろう」がモットーです。

今後もきのこプロジェクトの活動について、「楽しく」発信していきたいと思っています。関心を持っていただけると幸いです。

（担当者のT）



帯広開発建設部では“すったもんだ”で始まった原木しいたけ栽培ですが、きのこPチームでも既に活動が始まっています。



○きのこ勉強会①の開催

（令和7年1月）

きのこの栽培知識や事例、地域活性について、有識者の方を交えて勉強会を開催しました。



○きのこ勉強会②の開催

（令和7年4月、5月）

1月の勉強会に参加いただいたことがご縁で、観光農園の社長にご指導いただき、実際に原木に菌を打つ「植菌」作業を体験するなど、原木しいたけ栽培の行程を学習しました。

この際、農園のご厚意で「ほだ木」をいただきました。

○活動に係る打合せ会の開催

（令和7年5月）

秋の「しんとく新そば祭り」の出展企画に向けて、打合せを行いました。

協力してイベントを成功させる共創チームでありながら、「ダム事業者対抗しいたけコンテスト」の競争相手でもあります。楽しみながら競う内容を決めました。